



もうすぐ二学期も終わりですね。でも、そんなことを感じさせないくらいの暖かさ…。この暖かさのおかげで、子ども達は、毎日、園庭でサッカーやおばけオニごっこ等を楽しんでいます。また、友達と一緒に縄跳びに挑戦し、少しずつ跳べるようになってきた子もいます。子ども達は、みんな、体を動かして遊ぶ心地よさを味わいながら、活動をしていますよ。

二学期終了まで、2週間ほどとなりましたが、体調管理を行いながら、体を思い切り動かすことを楽しみ、過ごしていきたいと思います。

葉っぱ実験をしよう！！ ～一つの気づきから…～

今回は、Aくんが見つけた葉っぱの不思議について、子ども達が『葉っぱ実験！』と言いながら、葉っぱの不思議を試していく姿をお知らせします！

Aくんが、以前、クラスで育てている芽キャベツに、卵を発見！そして、その卵を「育てる！」と、飼育が始まりました。エサとなる芽キャベツの葉を新しいものに替えよう！と畑に行きました。葉をとる前に、水やりも…と、その時！



12月2日 ～『先生、見て！』：気付く～

Aくん：「先生、見て！」

芽キャベツの葉っぱの上で、綺麗にまあるくなった水を発見！！

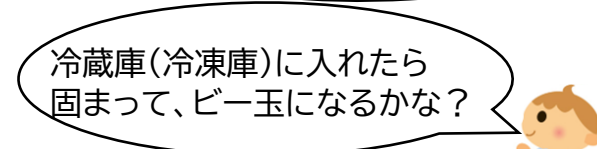
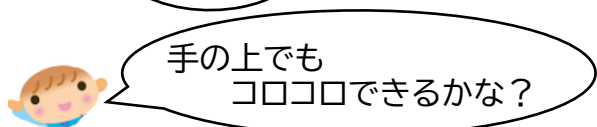
教 師：「うわ～、すごい！何でこんなのできるの？」

Aくん：「できるんやで！お家のブロッコリーもできるよ。あっ、こっちの…
丸い！！見てて…」

と言って、葉っぱを揺らすAくん。すると、水の玉が、葉っぱの揺れに合わせてプルプルッと揺れました。

教 師：「むっちゃ、揺れてる！面白いね～！みんなにも振り返りで教えてあげようよ！」

その日の振り返りの時間に、このことを話したAくん。Aくんの話に合わせて、上の写真を見せたり、葉っぱの揺れに合わせて水の玉が揺れる動画も見せると…



子ども達の発想は面白いですね。『手の上でもコロコロできる？』『凍らせたらビー玉になる？』ここで、大人が「できる訳ない」なんて言ってしまったら、そこでおしまいです。この後の、様々な“気づき”はなくなってしまいます。「いいね～！できるかな？やってみようよ！」やってみるからこそ面白い！実際に経験することで、心に深く残ります。そして次の日…

12月3日 ～『本当だ～！できた！！』『べちゃ～ってなった』:試してみる～

次の日、朝から、たくさん子ども達が、芽キャベツの周りに集まって、本当に水の玉ができるのか試していました。

Bちゃん:「本当だ～！できた！！」

Cくん:「こっちにもあるよ！！」

Aくん:「あっ、手に乗せたい！」

そっと葉っぱから、水の玉を手に乗せると…

Aくん:「わあ、べちゃ～ってなった」



本当だ…
丸くなってない



手の上では
できないんだね…



かなり、見えにくいですが、手の上では、水の玉はできず、べちゃ～となっていました。その後も子ども達は、しばらくの間、水の玉を作ったり、できた水の玉を揺らしたり、揺れる水の玉を触ったりして遊んでいました。



見て～！

水をたくさん入れたら
お池みたいになった！



12月3日 ～『色が変わった！』

『プルプルにならない！あっ光ってる！！銀色』:新たな気づき～

しばらく芽キャベツの葉で遊んでいた子ども達。その時、Dくんが、芽キャベツの葉っぱを少し強めに触ると、触った部分だけ色が変わりました。

Dくん:「あっ、色が変わった！」

教師:「何で？」

Dくん:「手が熱いから？あっ、でも、僕の手は冷たい！

冷たいから!?分かんない！」

そして、その部に水をかけてみると…

Aくん:「プルプルにならない！あっ、光ってる！銀色！！

でも、触ったところは光ってない！」



- ① 手で触ったら、葉っぱの色が変わった。
- ② 色が変わった部分には、水の玉ができない。
- ③ プルプル(水の玉のこと)が銀色に光っているように見える。
- ④ 触ったところ＝プルプルができない＝光らない。

色々なことに
気付くことができたね



子ども達は、この日、新たに4つのことに気付きました。葉っぱの不思議…何でだろう？光っていることに関しては、子ども達も、「光が当たってるから？」と言っていました。光が当たってる光り方ではなく、水と葉っぱの接地面が銀色に光っている感じでした。

その日の振り返りでは、AくんやDくんが、朝、実際に試してみて分かったこと(水の玉は、手にのせると、ベちゃーとなってしまうこと)や、前記の①～④のことをクラスみんなに伝えていました。

12月3日 ～『大根でもできたよ』:試してみる～

Aくん達の芽キャベツでの新たな気づきの後、Eちゃんが、朝の用意を終えて畑に来ました。Eちゃんも、水の玉ができるかどうか、芽キャベツの葉に水をかけていました。

Eちゃん:「先生、できたよ～！」

教 師:「本当だね～。さっき、みんなもやってたよ！」

Eちゃん:「大根もやってみよ～…大根もできたよ」

教 師:「大根もできたんだ～どれどれ～」

そこで、写真を撮りみんなにもお知らせすることにしました。



そして、Eちゃんが『大根でもできたよ』という話をしました。でも…クラスみんなは、大根の写真を見て、「これは、水の玉はできていない」と言いました。そこで、昨日の写真と見比べると…「やっぱりできていない!」。Eちゃんも写真を見て「あっ、できていない」と納得していました。



12月3日 ～『葉っぱが丸いのはできて、丸くないのはできないんじゃない?』:仮説①～

じゃあ、どうして大根の葉っぱはできないのか?子ども達に聞いてみました。

教 師:「何で、芽キャベツの葉はできて、大根の葉はできないんだろう?畑には、ブロッコリーやキャベツ、白菜もあるけど、他の葉っぱはどうなんだろうね?」

A く ん:「ブロッコリーはできたよ」

F く ん:「キャベツもできてた!」

A く ん:「白菜はできない!」

教 師:「白菜はできないんだ…」

G く ん:「分かった!葉っぱが丸いのはできて、丸くないのはできないんじゃない?」

教 師:「なるほど!芽キャベツ、キャベツ、ブロッコリーの葉は、少し丸みがあるから水の玉ができるけど、大根、白菜の葉っぱは、丸くなっているというよりは、真っ直ぐだから、ベちゃ～ってなるってこと?」

G く ん:「うん、そう!」

教 師:「なるほどね～…。色々な葉っぱでやってみると面白いかもね!」

H く ん:「やってみたい!!」

A く ん:「うん、やってみたい!!」

他の子ども達も頷いていました。そこで…

教 師:「じゃあ、明日やってみよう!!葉っぱ実験!!」

Hくん&子ども達:「イエ～イ!!」「やろうやろう!!」



クリスマスバッグも作らなきゃいけないけど…でも、今は、こっちの方が大切!子ども達の『何だろう…』『不思議だな…』『やってみたい!!』…子ども達の興味が湧き出ている“今”しかできないことを大切にしたいと思いました。

12月4日 ～『家でやってみたよ①』:試してみる～

Aくんが、登園するとすぐに家でも実験をしてみたことを教えてくれました。また、家にあったユーカリの葉は、水の玉ができたことから『みんなにも見せたい！』と、家から人数分のユーカリの葉を、とても大切そうに持ってきてくれました。他にもオリーブやアサガオの葉も持ってきてくれました。また、家でAくんが実験をしている姿を見て、お母さんが“実験しやすいように…”と、スポイトを持たせてくれました。

12月4日 ～『家でやってみたよ②』:試してみる～

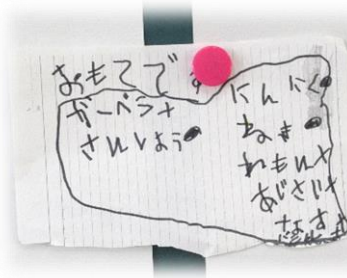
Gくんは、家で色々な葉で実験をして、それを紙に書いてきてくれました。

ガーベラ…× さんしょう…○ にんにく…○

ねぎ…○ れもん…× あじさい…×

なす…× バジル…×

と書いてありました。



この日は朝から、園庭にある色々な葉で、早速、実験をする姿がありました。



ビオラ…×



アリッサム…×



スナップエンドウ…○



ヤツデ…×



???…×(名前分かりません)



発芽したてのクローバー…○



ユーカリ…○



ノゲシ…○



オリーブ…×



アサガオ…×



12月4日 ～『ツルツルだとできなくて、カサカサだとできる？』:仮説②～

全体でする活動の時間に、朝、自ら進んで葉っぱ実験を行っていた子ども達の実験結果をクラスのみんなに伝えました。すると、昨日立てた仮説①『葉っぱが丸いのはできて、丸くないのはできないんじゃないか？』は、どうも違うのではないかと…という雰囲気…。

I く ん:「熱いとできやん？手で触ると熱いからできやんだ…？」

教 師:「前にキャベツを触ったら、手が熱くて色が変わって、できなかったから？触って熱い葉っぱはできないってこと？」

I く ん:「うん、そう」

D く ん:「僕の手、冷たいよ」

A く ん:「葉っぱがツルツルだとできなくて、カサカサだとできるとか？オリーブは、ツルツルしてるけど、ユーカリはカサカサしてるし…」

教 師:「なるほど…」

ここで、Aくんが、みんなにユーカリの葉を配ってくれました。そして、ユーカリの葉の手触りや匂いを確認する子ども達。

F く ん:「いい匂いする～」

H く ん:「本当やカサカサしとる！」

教 師:「とりあえず…お外にでて、色々な葉っぱを見つけて、実験してみる？」

子ども達:「お外行こう！！」

ここから、子ども達は、園庭中を駆け回り、様々な葉を見つけては、Aくんが持っているスポイトで水をかけてもらい、葉っぱに水の玉ができるかどうかを繰り返し実験しました。



約 20 分程、園庭で見つけた様々な葉で実験を繰り返し…水の玉ができた葉は、ムラサキカタバミ、ノゲシしか見つからず…ほとんどが、水の玉ができない。という結果になりました。

ということで…

仮説②:『水の玉はツルツルだとできなくて、カサカサだとできる?』も、絶対にそう!とは言えないな…ツルツルでもカサカサでもなく、あいだくらいだな…ということが分かりました。



そして、午後からは、こんなことも分かりましたよ!

12月4日 ~『できない…』:新たな気づき~

午後から、午前中の実験をもっとやってみたい!という子もいるかもしれないと思い、午前中に子ども達が集めた葉っぱとAくんのスポイトを借りて、保育室の一角に置いておきました。すると、Eちゃん、Jちゃん、Kちゃんが集まり…もう一度、自分の手で水の玉を作っていました。



でも、不思議なことに、午前中にあんなにプルプルの水の玉ができていたユーカリの葉に、水の玉ができません。

Jちゃん:「先生、できないよ!」

教 師:「何で!?あんなにできてたのに…」

Jちゃん:「ずっと触ってたら、できなくなった!」

教 師:「そうなの!?触りすぎるとできなくなるのかな…?」

あっ、だから、Dくんが芽キャベツの葉を触った時も強く触ったからできなくなったのかな…?

Kちゃん:「そうなんじゃない?」



今回、Aくんが見つけた芽キャベツにできた水の玉から始まった、葉っぱ実験。水の玉ができる条件として…

- ① 葉っぱの形は関係ない
- ② 手触りはあまり関係なく、ツルツル、カサカサのあいだくらい
- ③ 水の玉ができる葉っぱでも、触りすぎるとできなくなる(…ようだ)

ということが分かりました。そして、他にも…

- ④ 葉っぱにできた水の玉は、銀色に光っている
- ⑤ 水の玉があったところは、水の玉が落ちてなくなった後にも濡れていない



これで、すみれ組での葉っぱ実験は、終わりました。でも…翌日、新しい葉っぱをもってきて、試している子ども達の姿がありました。

新しい発見はあるかな?楽しみです♡



さて、このすみれ組での葉っぱ実験。初めは、芽キャベツにできた水の玉を見つけ、そこから『水の玉ができる葉っぱ、できない葉っぱがある』ことに気付きました。そして他にも『水の玉は、銀色に光って見える』ということや『水の玉が落ちた後、葉っぱが濡れていない』ことにも気づいた子ども達。子ども達は、どの子も楽しそうに様々な葉っぱを探し、試す姿がありました。きっと、その中で、『葉っぱ』と言っても、様々な形、色、大きさ等があることに気付いたと思います。そして、約20分間、みんなが同じ目的に向かっているのを感じました。

この遊び、私は、結果が重要ではない…そう思っています。これは、勉強ではありません。子ども達にとっては『遊び』の一つなのです。ですので、正しい答えを導きだす必要もないですし、答えを教える必要もないと思っています。自分達が気付いたことが答えなのです。

しかし、『遊び』といっても、実にいろいろなことを考え、学んでいることに気付きます。まるで、小学校の理科の実験のようですね。でも、あくまでも勉強でなく『遊び』なのです。

今回の遊びの中で、私が大切にしたかったことは、『友達と一緒に一つの目的(ここでは、水の玉ができる葉っぱとできない葉っぱの違いはなんだろう?)に向かって共に考え、“あ～でもないこ～でもない”“これはどうかな?”“〇〇かもしれない”と、考えを巡らせていく過程』です。

これは、今後の学習にもつながる姿だと思います。10月に、小学校の授業を見る機会がありました。その時も3～4人のグループで、教師の出す課題について、グループ話合って意見を述べあっていました。そして、最後にグループとしての考えをまとめる…ということをしていました。

自分一人では分からなくても、友達と一緒に考えを巡らせたり、友達の考えを聞いて、こうかもしれないな…と考えたりすることが『楽しいな』『面白いな』という経験がなければ、考えることすら『面倒臭い』となるかもしれません。とくに今は、何でも調べられる時代です。ネットで調べて終わり…なんていうこともあるかもしれません。ネットで調べるのが良くないとは思いません。しかし、実際に、自分の体や心を使って味わったものほど、記憶には残らないと思います。

今回は、水やりで見つけた『水の玉』でしたが、私達大人にとっては、「ふ～ん、そうなんだ…」というような、気にも留めないような事象かもしれません。でも、子ども達にとっては、とても不思議で、とても面白く、ワクワクドキドキする事象なのです。子ども達にとって、ワクワクドキドキするようなことは、普段の生活の中にたくさん存在しています。子ども達の姿を見ていれば、そのことが伝わってきます。

今後も、子ども達の小さな発見やワクワクドキドキを受けとめ、友達と考えを巡らせる時間を大切にしながら、小学校までの残り約3か月半を過ごしていきたいと思っています。

